

千葉大学病院へ受診された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年5月6日

感染制御部・感染症内科

感染制御部・感染症内科では、塗抹培養検査で見られた *Staphylococcus epidermidis* (表皮ブドウ球菌) 貪食像の臨床的意義に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2010年1月1日～2022年12月31日の間に塗抹培養検査をされた方

1. 研究課題名

「*Staphylococcus epidermidis* 貪食像の臨床的意義」

2. 研究期間

2024年承認日～2026年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

感染症の原因を調べる培養検査では、顕微鏡で見る検検査で白血球内に細菌が取り込まれている像が見られます。

貪食像がある場合、貪食された菌が原因で炎症が起きていると言われてはいますが確かめられた研究はありません。貪食像がある菌に対する抗菌薬の効果に違いがあるのか検討することで、今後の診療に活かしたいと考えています。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

感染症が疑われる場合に採取された塗抹培養検査結果、年齢、性別、既往歴、併用薬、発熱など症状、血算、生化学、画像の臨床検査結果

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥 精司

研究責任者：感染制御部・感染症内科 教授 猪狩英俊

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院感染制御部部員室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科

医師 戸来依子

043(222)7171 内線6445